



新年、明けましておめでとうございます。町民の皆さまにおかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。平素は町行政に対し、温かいご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。昨年はお申すまでもなく巨大な地震と津波、そして日本の原子力発電史上、最悪の事態となつてしまつた福島第1原発の事故、さらには放射性物質にまつわる風評被害まで、幾重にも重なる天災および人災の被害に日本中が襲われた一年でありました。

新年を迎えた今も、つらい避難生活を強いられている被災者の方々に心よりお見舞いを申し上げます。愛するものを失われた方々に謹んで哀悼の意を表するとともに、一日も早い本格的な復興をお祈り申し上げます。

## 箱根町長 山口昇士

なお、「箱根の元気を日本の元気に」つなぐたすきとして、「今、箱根にできること」を合い言葉に町全体が一丸となり推進してきた箱根温泉AIDプロジェクト、これにより新たに結ばれた町外との絆、それと同時に深め合えた町内の絆をこれからも大切にしていきたいと思っております。さて、日本全体が悲しみに暮れた年が明け、今年こそは希望に満ちた明るい年になつてほしいと大いに期待をするものでありますが、日本経済を取り巻く環境は超円高問題やTTP問題など、全く予断を許さない状況にあります。

一方、羽田空港の国際化や、箱根湯本駅ターミナル・小田原箱根道路の整備など、観光地箱根にとつてメリットある社会基盤が整いつつあります。昨年施行いたしました箱根町観光振興条例には、「町、町民、観光事業者および観光関係団体が一体となり、将来に向け自然資源および環境を守り、それらと真に共生・調和しながら、持続的に発展する観光地」の形成を目指すとあります。

その一つの象徴として、今年箱根ジオパーク認定を目指してまいります。この成否には、ガイド養成など地域一体となつた取り組みが重要な鍵となりますので、皆さまの積極的なご協力をよろしくお願いいたします。

箱根町第5次総合計画も前期5年が過ぎ、本年4月から後期基本計画がスタートします。町民の皆さまが未来に確かな希望が持てるまちづくりを進めてまいり所存でございますので、お力添えのほど、よろしく願いたします。

新しい年が皆さまにとって幸多い年となりますよう祈念申し上げます、新年のごあいさつとさせていただきます。

新春をことほぎ、謹んでお喜び申し上げます。町民の皆さまには、日頃から町議会の活動に對しまして、温かいご支援とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

現代を生きる私たちにとつて忘れられない出来事となつた、国内観測史上最大と言われる東日本大震災発災から早くも月日は流れ、誘発された原子力発電所の事故に関しては、解決の兆しがなかなか見えてこない中、新たな年を迎えました。

発災を機に、日本をはじめ、世界中で、原子力問題を含めた防災・災害などへの意識が変化し、人とのつながり、支えあいの大切さ、人間の力強さを学んだ年でもありました。

国のリーダーシップの下、「地方分権、地域主権」が進む中、自治体の役割は注目を浴びるようになり、住民に一番身近である市町村の力が重要となつてまいります。申し上げるまでもなく、厳しい財政状況が続く、全国の自治体を取り巻く環境はより一層厳しさを増しており、箱根町政におきましても、町税など歳入の確保、少子高齢化への対応、観光誘客対策、地球温暖化防止に向けた環境対策などの課題が山積しており、これまで以上に行政の真価が問われる時期となつております。

そのような中、私たち議会に求められていることは、予算案などの議決のみではなく、行政へのけん制や監視、政策を提案しながらも、同時に議員みずからが条例案を立案するなど、町民の皆さまの声を行政に反映させなければなりません。まずは議員みずからの意識改革が必要であり、果たすべき役割を再認識し、信頼される議会を目指して、箱根に合った、箱根らしい議会改革の歩みを進めていくことが必要であります。

# 迎春

## 箱根町議会議長

折橋 尚道



まちづくりの主役は町民の皆さまであることを第一に、住んでよかったと思えるまちづくりの実現に向けて鋭意努力し、行政と良い緊張関係を持ちながら議員の役割を全うしていきたいと思っております。

迎えた平成24年は、東京スカイツリーの落成・開業、夏にはロンドンでのオリンピック開催など、明るい話題が日本をにぎわすことが期待される年でもあります。日本を元気にする取り組みを箱根からも発信できるよう行政と協力し、魅力ある箱根にすることも使命と感じております。

本年も町議会に一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます、新春の門出にあたり、皆さまのご多幸とご健康を祈念いたしまして、年頭のごあいさつといたします。